



きらきら星変奏曲



モーツァルト 作曲

教科書 p.62

1

「きらきら星変奏曲」は、ピアノで表現される作品です。楽曲は、「きらきら星」の旋律に基づく「主題」と、12の「変奏」によって構成されています。「きらきら星」の旋律がどのように表れたか、下の表に記録しながら楽曲全体を聴き取ってみよう。その後、もう一度鑑賞して雰囲気や曲想の変化など感じ取ったことを整理してみよう。

	「きらきら星」の旋律がどのように表れたか	雰囲気や曲想の変化など感じ取ったこと
主 題		
変奏 1		
変奏 2		
変奏 3		
変奏 4		
変奏 5		
変奏 6		
変奏 7		
変奏 8		
変奏 9		
変奏 10		
変奏 11		
変奏 12		



教材曲音源をきくときは、先生や保護者に相談しましょう。



ボタンをクリックすると再生されます。音の大きさに注意しましょう。



ワークシートはA4判で出力されます。

2

変奏1，変奏8を聴いて、どんな違いを感じましたか。気がついたことや感じ取ったことを記録しよう。また、その違いは「音楽を形づくっている要素」の何によるものなのか、もう一度注意して聴き、**教科書** p. 62 「音楽を形づくっている要素」の図を参照しながら整理してみよう。

変奏1	
変奏8	

●「音楽を形づくっている要素」ごとに整理してみよう。

音色 (おんしょく)		テクスチャ	
リズム		強弱	
速度		形式	
旋律		構成	
整理できなかった要素			

3

変奏12を聴いてみて、音楽を形づくっている要素や雰囲気の変化などについて、聴き取ったり感じ取ったりしたことを伝え合ってみよう。
